

## 施策名：次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備

事業名	担当課・室名	ページ
大分にこここ保育支援事業	こども子育て支援課	2 / 9
みんなで子育てキャンペーン推進事業	こども子育て支援課	3 / 9
保育サービス推進事業	こども子育て支援課	4 / 9
放課後子どもプラン推進事業	こども子育て支援課	5 / 9
地域子育て支援拠点機能強化事業	こども子育て支援課	6 / 9
子育て自然体験促進事業	こども子育て支援課	7 / 9
子育て支援対策充実事業	こども子育て支援課	8 / 9
児童福祉施設整備事業	こども子育て支援課	9 / 9

事業名	大分にこここ保育支援事業		事業期間	平成 16 年度～平成 年度		政策区分	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
				施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	こども子育て支援課		評価者	こども子育て支援課長 飯田 隆次

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	合計特殊出生率が低位で推移（平成23年：1.55、平成24年：1.53、平成25年：1.56）している。また、平成25年の出生数は9,605人で、過去最少となった。	事業の目的	複数の子どもを育てる世帯に対する子育ての経済的負担を軽減する。
-------	--	-------	---------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
3歳未満児の保育料の負担軽減			総コスト	254,296	258,122	269,657
認可保育所第2子分	保育料を半額免除した市町村に経費の1/2を助成 (11市町)		事業費	253,296	257,122	268,657
認可保育所第3子以降分	保育料を全額免除した市町村に経費の1/2を助成 (17市町村)		(うち一般財源)	253,296	257,122	268,657
認可外保育施設第2子分	保育料を半額免除した市町村に経費の1/2を助成 (4市)		人件費	1,000	1,000	1,000
認可外保育施設第3子分	保育料を全額免除した市町村に経費の1/2を助成 (5市)		職員数 (人)	0.10	0.10	0.10

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								・未実施市町村への実施促進	
	認可保育所等事業実施市町村 (認可第2子) (か所)	目標値	11	12	13		<b>a</b>		
		実績値	11	11					
		達成率	100.0%	91.7%					
	認可保育所等事業実施市町村 (認可第3子) (か所)	目標値	17	17	17				
		実績値	17	17					
		達成率	100.0%	100.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								保護者の経済的負担を軽減し、子どもを生み育てやすい環境を整備する本事業を県内全域で実施するには、市町村への支援が必要であり、引き続き県が実施する必要がある。	
	子ども1人当たりの医療費・保育料等助成全国順位 (位)	目標値		10	9		<b>a</b>		
		実績値		10					
		達成率		100.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・制度活用を市町村に促し、特に認可保育所等第2子分の保育料軽減については、未実施市町村に対し引き続き働きかけを実施
- ・高所得者世帯への負担のあり方も含めて検討

事業名	みんなで子育てキャンペーン推進事業		事業期間	平成 26 年度～平成 26 年度		政策区分	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	
				施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備			
総合評価	<b>A</b>	<b>終了</b>	事業実施課（室）名	こども子育て支援課		評価者	こども子育て支援課長 飯田 隆次	

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	子育て中の親が、不安感や孤立感を抱きながら子育てをしている。	事業の目的	子育て中の親に対して、子育て支援情報を提供して事業の活用を促すとともに、地域社会全体が、子どもの健やかな成長を見守り、子育てを支援する意識を醸成する。
-------	--------------------------------	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
マスメディアからの情報発信 NPO等との連携によるキャンペーンの推進	身近なマスメディアであるテレビ・ラジオ等を活用した子育て支援情報の発信 委託先：(株)エフエム大分、(株)プランニング大分 NPO等と連携して「第13回全国子育てひろば実践交流セミナーinおおいた」の開催 委託先：全国子育てひろば実践セミナー実行委員会	・提案公募を行うなど、限られた予算の中でより効果的で、効率的な広報を実施  ・全国大会開催に係る諸経費を削減	総コスト		22,674	
			事業費		17,674	
			(うち一般財源)		4,055	
			人件費		5,000	
			職員数(人)		0.50	

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
	「第13回全国子育てひろば実践交流セミナーinおおいた」参加者人数(人)	目標値			500			<b>a</b>	・「子育て支援サービスを知っていると答えた人の割合」の向上
実績値				744					
達成率				148.8%					
テレビ、ラジオでの情報発信回数(回)		目標値			41				
		実績値			41				
		達成率			100.0%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	県ホームページ(「子育てのタネ」)へのアクセス件数(件)	目標値			10,000			<b>a</b>
実績値			6,407	10,363				
達成率				103.6%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・今後もあらゆる機会を通じて広報を実施				

事業名	保育サービス推進事業費		事業期間	平成 25 年度～平成 26 年度		政策区分	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
						施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備
総合評価	<b>A</b>	終了	事業実施課（室）名	こども子育て支援課		評価者	こども子育て支援課長 飯田 隆次

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	保護者の多様な保育ニーズに対応するため、延長保育等を実施する保育所の整備が求められている。	事業の目的	児童の保護者の仕事と子育ての両立を図る。
-------	---	-------	----------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況			
延長保育促進事業	保育所の開所時間の延長に必要な人件費等の経費を助成 (127か所)	総コスト	25年度	26年度	27(予算)
		事業費	399,365	436,432	
		(うち一般財源)	393,365	430,432	
		人件費	192,902	211,923	
		職員数(人)	6,000	6,000	

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題
	延長保育実施施設数(か所)	目標値		187	189			<b>a</b>
実績値			199	212				
達成率			106.4%	112.2%				
目標値								
	実績値							
	達成率							

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
	延長保育利用延べ児童数(人)	目標値		200,518	208,572			<b>a</b>
実績値			204,462	210,399				
達成率			102.0%	100.9%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・「地域子ども・子育て支援事業」に統合して実施するため当事業は終了				

事業名	放課後子どもプラン推進事業	事業期間	平成 3 年度～平成 年度		政策区分	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
			施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	こども子育て支援課	評価者	こども子育て支援課長 飯田 隆次

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	共働き家庭の増加や働き方の多様化、女性の就労希望の高まり等により、昼間保護者が家庭にいない世帯が増加しており、放課後における子どもの遊びと生活の場の確保が課題となっている。	事業の目的	放課後児童クラブの運営費の補助等を行う市町村に対し、その経費の一部を補助することにより、昼間保護者が家庭にいない小学1～3年生を対象に、放課後における遊びと生活の場を提供する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
放課後児童指導員資質向上事業	児童の安全管理、配慮を要する児童等に関する研修(3回)	・指導員等研修について教育委員会と合同実施	総コスト	392,822	405,923	425,566
放課後児童健全育成事業	児童数10人以上のクラブに対する運営費補助を行う市町村への補助(193クラブ)		事業費	387,822	400,923	420,566
放課後児童クラブ環境改善事業	クラブの備品購入に対する補助を行う市町村への補助(2クラブ)		(うち一般財源)	192,242	199,505	420,566
放課後児童の衛生・安全対策事業	放課後児童指導員の健康診断費に対する補助を行う市町村への補助(138クラブ)		人件費	5,000	5,000	5,000
障がい児受入運営費補助	障がい児受入費用に対する補助を行う市町村への補助(88クラブ)		職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	放課後児童クラブ数(クラブ) ※27年度以降の目標値には大分市を含む	目標値		190	191	287		
	実績値		188	191				
	達成率		98.9%	100.0%				
放課後児童指導員資質向上研修参加者数(人)	目標値			390				
	実績値		367	379				
	達成率			97.2%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	放課後児童クラブ登録児童数(人) ※27年度以降の目標値には大分市を含む	目標値			6,977	11,203		
	実績値		6,816	7,127				
	達成率			102.1%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおいた子ども・子育て応援プラン(第3期計画)に基づき、放課後児童クラブ設置促進を図るとともに、教育委員会と連携し総合的な放課後対策を推進</li> <li>・障がいのある児童や虐待への対応等、特に配慮を要する児童についての受入れの推進</li> <li>・放課後児童クラブガイドラインに基づく適正規模でのクラブ運営</li> </ul>				

事業名	地域子育て支援拠点機能強化事業		事業期間	平成 24 年度～平成 26 年度		政策区分	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
						施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備
総合評価	<b>A</b>	<b>終了</b>	事業実施課（室）名	こども子育て支援課		評価者	こども子育て支援課長 飯田 隆次

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	少子化や核家族化の進行により、地域全体で子育て家庭を見守り支えていく仕組みづくりが課題となっている。	事業の目的	子育て中の親が子どもを健やかに育てることが出来る環境づくりを行う。
-------	--	-------	-----------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
訪問型子育て支援	訪問型子育て支援を行うホームスタートスタッフ養成費用補助(3市町)、推進研修(1回)、スキルアップ研修・普及講演会(1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修をNPO法人に委託</li> <li>市町村と役割を整理しブロック別の研修を市町村主体で実施</li> </ul>	総コスト	9,928	8,448	
地域子育て支援拠点スタッフネットワーク研修	地域子育て支援拠点応用研修(19名参加) 委託先：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会		事業費	4,928	3,448	
			(うち一般財源)	3,251	3,448	
男性の子育て支援事業	男性の子育て参画促進イベント開催経費補助(9市町)		人件費	5,000	5,000	
		職員数(人)	0.50	0.50		

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (26年度)	評価	今後の課題
	実績値	84	142		142			
	達成率		118.3%		118.3%			
拠点関係研修参加者(人)	目標値		80		80			
	実績値	304	179		179			
	達成率		223.8%		223.8%			

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (26年度)	評価	事業の成果
	実績値	66	66		66			
	達成率	97.1%	93.0%		93.0%			

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に従事する者の資質向上のためには継続した研修が必要であるため、27年度に制度化される「子育て支援員研修」等の取組みとして実施。</li> <li>・訪問型子育て支援の市町村補助については、実施したい市町村への支援が行えたため終了</li> </ul>				

事業名	子育て自然体験促進事業		事業期間	平成 25 年度～平成 26 年度		政策区分	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
						施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備
総合評価	<b>B</b>	<b>終了</b>	事業実施課(室)名	こども子育て支援課		評価者	こども子育て支援課長 飯田 隆次

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子化、核家族化、都市化の進行等により、親世代も自然に親しむ経験がない人が増えており、子どもが自然の中で様々な体験をする機会が減少している。	事業の目的	就学前の親子等を対象に子どもの幼少期からの自然体験機会を増やす。
-------	--	-------	----------------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
子育て自然体験促進講座の開催 ・子育て自然体験研修会 ・自然ふれあい体験学習会	子育て支援施設職員等を対象とした研修会(1か所) 公園、森林等での自然体験ふれあい体験行事(17か所) 委託先：NPO法人グリーンインストラクターおおいた	・自然ふれあい体験学習会の講師派遣をNPOへ委託	総コスト	5,089	3,096	
			事業費	1,089	1,096	
			(うち一般財源)			
			人件費	4,000	2,000	
			職員数(人)	0.40	0.20	

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (26年度)	評価	今後の課題	
								子育て自然体験促進講座講師派遣 人数(人)	目標値
	実績値	47	67		67				
	達成率		93.1%		93.1%				
	目標値								

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (26年度)	評価	事業の成果	
								子育て自然体験促進講座参加者数 (人)	目標値
	実績値	1,026	1,244		1,244				
	達成率		86.4%		86.4%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施設へ特化した取組みを2年間実施したことにより、一定の周知が図られたことから、より効率的に取組みを行う観点から森の先生派遣事業へ事業を統合。</li> <li>・子育て支援施設等職員に継続して周知。</li> </ul>				

事業名	子育て支援対策充実事業 (保育所等緊急整備事業費補助)	事業期間	平成 21 年度～平成 27 年度		政策区分	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
					施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	こども子育て支援課	評価者	こども子育て支援課長 飯田 隆次

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	多様な保育ニーズに応えるため、子育てサービスを提供する保育所等の整備が求められている。	事業の目的	保育所の整備による定員の増加により、待機児童の解消を目指すとともに、子どもを安心して育てることができるよう体制整備を行う。
-------	---	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
私立保育所施設整備  賃貸物件による保育所整備事業	保育所の施設整備を実施する市町村に対する経費の補助 (26か所)  保育所分園の家賃補助を実施する市町村に対する経費の補助 (5か所)		総コスト	1,041,525	1,589,189	738,847
			事業費	1,038,525	1,586,189	735,847
			(うち一般財源)			
			(うち繰越額)	123,365	97,879	153,129
			人件費	3,000	3,000	3,000
職員数(人)	0.30	0.30	0.30			

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	今後の課題	
								施設整備実施数(か所)	目標値
	実績値	22	26						
	達成率	100.0%	100.0%						
保育所分園の家賃補助実施数 (園)	目標値	5	5	5	5				
	実績値	5	5						
	達成率	100.0%	100.0%						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	事業の成果	
								施設整備に伴う保育所入所定員の増(人)	目標値
	実績値	448	431						
	達成率	100.0%	100.0%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・平成27年度以降は、国から市町村へ直接交付される「保育所等整備交付金」を活用し、保育所等の施設整備を行う予定				



事業名	児童福祉施設整備事業		事業期間	昭和 39 年度～平成 年度		政策区分	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
				施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	こども子育て支援課		評価者	こども子育て支援課長 飯田 隆次

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	共働き家庭の増加や働き方の多様化、女性の就労希望の高まり等により、昼間保護者が家庭にいない世帯が増加しており、放課後における子どもの遊びと生活の場の確保が課題となっている。	事業の目的	放課後児童クラブ室等の整備を行う市町村に対し、その経費の一部を補助することにより、昼間保護者が家庭にいない小学1～3年生を対象に、放課後における遊びと生活の場を提供する。
-------	--	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
子育て支援のための拠点施設整備	放課後児童クラブ創設のためにクラブ室等の整備を行う市町村に対する経費の補助（6か所）		総コスト	28,664	41,996	47,828
			事業費	26,664	39,996	45,828
			（うち一般財源）	13,332	19,998	45,828
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数（人）	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 （年度）	評価	今後の課題
	放課後児童クラブ整備数（か所） ※27年度以降の目標値には大分市を含む	目標値			6	12		<b>a</b>
	実績値		5	6				
	達成率			100.0%				
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 （年度）	評価	事業の成果
	放課後児童クラブ数（クラブ） ※27年度以降の目標値には大分市を含む	目標値		190	191	287		<b>a</b>
	実績値		188	191				
	達成率		98.9%	100.0%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・施設整備にあたっては、学校の余裕教室等の既存施設を活用するよう市町村に対し推奨				